

テーマレバレッジシリーズ 各ファンドの特長について

2021年9月29日

平素はテーマレバレッジシリーズをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

下記各ファンドの特長をご紹介します。

- ・テーマレバレッジ EV2倍
- ・テーマレバレッジ 中国ニューエコノミー2倍
- ・テーマレバレッジ eコマース2倍
- ・テーマレバレッジ クリーンテック2倍
- ・テーマレバレッジ ゲーム&eスポーツ2倍
- ・テーマレバレッジ DX2倍
- ・テーマレバレッジ ヘルステック2倍
- ・テーマレバレッジ ブロックチェーン2倍

「テーマレバレッジ」シリーズ <https://www.daiwa-am.co.jp/special/themeleverage/>

成長テーマの代表企業群へ“効率的”に投資可能なテーマファンドシリーズです。「テーマレバレッジ」シリーズでは外部資本を効率的に活用して、信託財産の純資産総額の2倍相当額を投資します（レバレッジ投資）。テーマの成長をけん引する競争力の高い銘柄を信託財産の純資産総額の2倍相当額を組み入れることで、「テーマの成長」がより大きな「ファンドの成長」につながる運用をめざしています。

また上記ホームページ以外にも、ツイッター上でテーマ株投信シリーズの情報を発信しています。

【テーマ株投信】【iFreeActive/テーマレバレッジ】大和アセットマネジメント@DAM_THEME

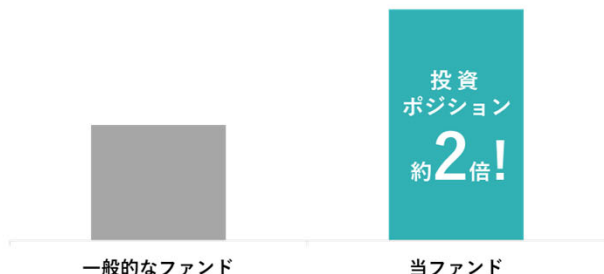
https://twitter.com/DAM_THEME

※予告なしに、情報提供内容が変更または廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

テーマレバレッジ EV2倍

世界の「EV」代表銘柄に効率的に投資

図表1：当ファンドの投資イメージ



テーマレバレッジシリーズは、世界の変革をとらえ、未来を見据えた有望なテーマへの効率的な投資機会を提供します。当ファンドでは、外部資本を活用して、テーマの代表企業群に信託財産の純資産総額の2倍相当額の投資を行います。

元手をかんたんに増やした状態で、テーマ性の濃い優良銘柄への投資を行うことができ、より効率的にテーマの成長を背景としたリターン獲得を目指すことができる点が特徴です。

「EV」の成長

100年に一度といわれる大改革

EVはElectric Vehicleの略で、日本語では電気自動車といえます。将来的に新車販売の半数以上がEVとなり、私たちの生活にも変化をもたらす見込みです。

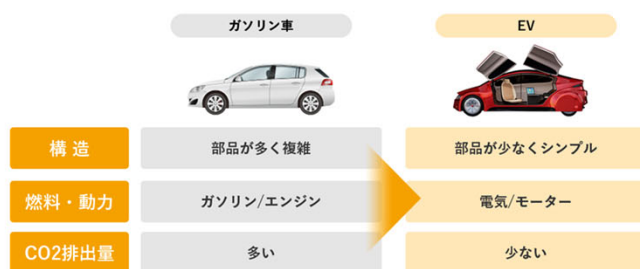
図表2：世界のEV販売台数の推移予測



環境問題への対応

ガソリン車がガソリンをエンジンで燃焼させるのに対して、EVは電動モーターを活用して、車を駆動させます。EVは走行中にCO2や排気ガスを出さないため、環境問題の解決に貢献します。

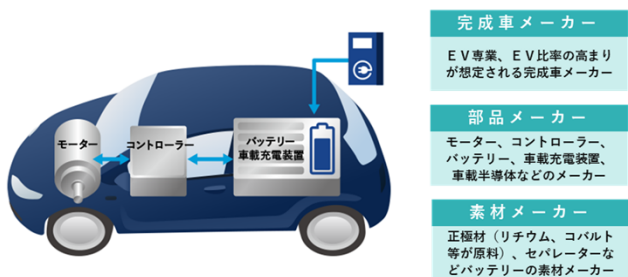
図表3：ガソリン車とEVの比較



さまざまな分野の企業が主役に

EVはガソリン車と異なり、まったく新しいしくみで動くため、「完成車」「部品」「素材」の各分野で競争を勝ち抜いたメーカーが主役となる見込みです。

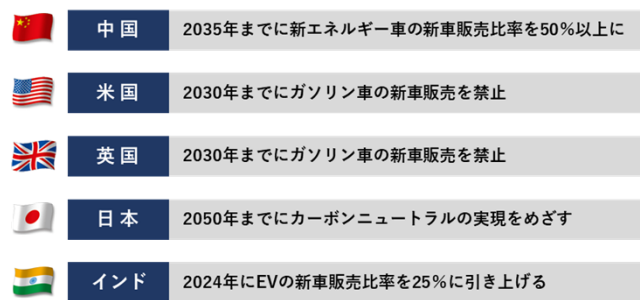
図表4：EVのしくみ、および、活躍が期待される関連メーカー



各国の政策が世界のEV市場を後押し

各国政府は、環境保護の推進を目的にEVの普及に関連する長期目標を具体化してきています。政府による支援策が、今後のEV市場の拡大を後押しする見込みです。

図表5：各国政府によるEV関連目標

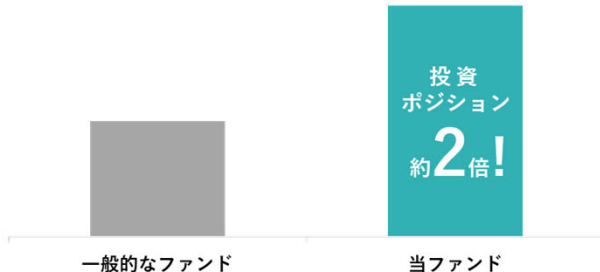


※後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。※出所 [図表2] ブルームバーグより当社作成、[図表3,4,5] 各種資料より当社作成、※当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドへの組み入れや今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

テーマレバレッジゲーム&eスポーツ2倍

世界の「ゲーム&eスポーツ」代表銘柄に効率的に投資

図表1：当ファンドの投資イメージ



テーマレバレッジシリーズは、世界の変革をとらえ、未来を見据えた有望なテーマへの効率的な投資機会を提供します。当ファンドでは、外部資本を活用して、テーマの代表企業群に信託財産の純資産総額の2倍相当額の投資を行います。

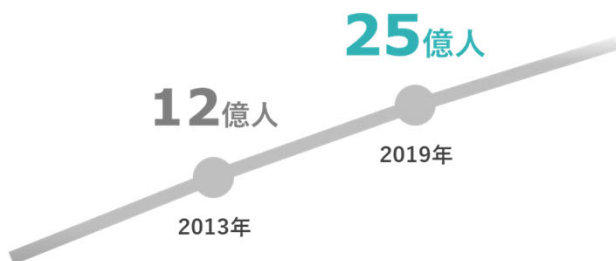
元手をかたんに増やした状態で、テーマ性の濃い優良銘柄への投資を行うことができ、より効率的にテーマの成長を背景としたリターン獲得を目指すことができる点が特徴です。

「ゲーム&eスポーツ」の成長

ゲーム人口の増加

ゲームは子供から大人まで年齢にかかわらず楽しめる身近な娯楽となりました。また、スマートフォン普及や新興国の人口増加などが世界のゲーム人口増加に大きく貢献しています。

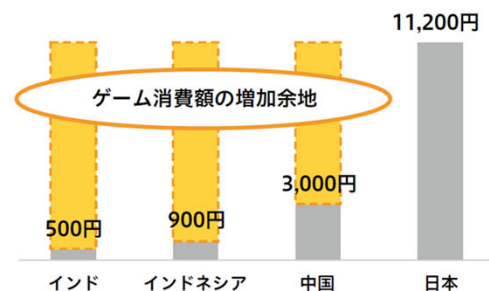
図表2：世界のゲーム人口の推移



ゲーム消費額の増加

新興国の人口一人当たりゲーム消費額は、日本に比べて低地で、高い成長ポテンシャルがあります。経済発展や通信環境改善などを背景に、今後のゲーム消費額の増加が見込まれます。

図表3：年間の人口一人当たりオンラインゲーム消費額（2018年推計）



※1米ドル=110円と仮定し円換算

eスポーツ人気の高まり

海外では競技性の高いゲーム（≒eスポーツ）が熱狂的に支持されており、ゲームをプレーするだけでなく、ゲームの試合などを動画で見るなどの新たな楽しみ方やビジネスが拡大しています。

図表4：eスポーツ大会とNBAのピーク視聴者数



※eスポーツ：LOL Worlds2017 準決勝、バスケットボール：NBAファイナル2017第5戦

コミュニケーションのツールに

コロナ禍で人と人が直接会う機会が減少するなか、コミュニケーションのツールとしてゲームが利用される機会が増加しており、ゲーム市場拡大の追い風となっています。

図表5：ゲームを通じたコミュニケーションのイメージ

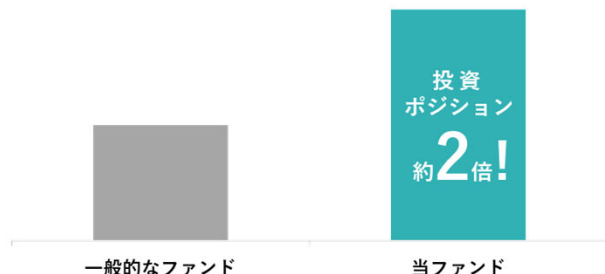


※後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。※出所 [図表2] Newzoo資料より当社作成、[図表3] 経済産業省および国連資料より当社作成、[図表4] 各種大会資料より当社作成。※当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドへの組み入れや今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

テーマレバレッジ 中国ニューエコノミー2倍

「中国ニューエコノミー」代表銘柄に効率的に投資

図表1：当ファンドの投資イメージ



テーマレバレッジシリーズは、世界の変革をとらえ、未来を見据えた有望なテーマへの効率的な投資機会を提供します。当ファンドでは、外部資本を活用して、テーマの代表企業群に信託財産の純資産総額の2倍相当額の投資を行います。

元手をかんたんに増やした状態で、テーマ性の濃い優良銘柄への投資を行うことができ、より効率的にテーマの成長を背景としたリターン獲得を目指すことができる点が特徴です。

「中国ニューエコノミー」の成長

成長著しい中国の将来を見据えて

中国政府は、2035年までに国内総生産（GDP）と1人当たりの収入を2倍にすることは完全に可能と説明しています。2021年以降、年率4%超の高成長が長期的に続く見通しです。

図表2：中国のGDP実績および見通し



高い質を前提とした持続的な発展

中国の第14次5カ年計画（2021～2025年）では、経済成長の速度だけではなく、クオリティや持続性を重視して、より幅広い分野で目標を達成していく姿勢が示されています。

図表3：第14次5カ年計画で示された目標例

- 科学技術の自立と強化
- 農村部の発展
- 地域間発展のアンバランス改善
- 文化の発展促進によるソフトパワーの向上
- 環境保護
- 対外開放の高速化
- 人民の生活品質の改善
- 国家安全の一段の強化

政府支援による成長加速が見込まれる産業

中国の第14次5カ年計画では、特定産業の成長加速が示唆されており、関連企業が今後の中国経済成長を支えていくと想定されます。

図表4：第14次5カ年計画で言及された産業および想定される動き

交通・物流	無人ドローンなどの現代的物流システムを構築
低炭素化	経済および社会の全面的なグリーン化を推進
ハイテク	半導体や人工知能などの基礎研究を強化
デジタル化	国際競争力のあるデジタル産業を育成
農業	農業金融サービスシステム等の健全化を推進

環境保護の関連事業に注目

中国は、2035年をめどに新車販売のすべてを電気自動車などの新エネルギー車やハイブリッド車にする方針を発表しました。今後も環境保護に関わる事業の拡大が注目されます。

図表5：中国のEV販売台数見通し

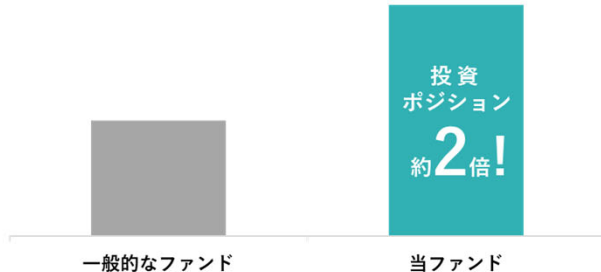


※後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。※出所[図表2,3,4]第14次5カ年計画に関する建議に基づいて当社作成。[図表5]ブルームバーグをもとに当社作成。※当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドへの組み入れや今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

テーマレバレッジ DX2倍

世界の「DX」代表銘柄に効率的に投資

図表1：当ファンドの投資イメージ



テーマレバレッジシリーズは、世界の変革をとらえ、未来を見据えた有望なテーマへの効率的な投資機会を提供します。当ファンドでは、外部資本を活用して、テーマの代表企業群に信託財産の純資産総額の2倍相当額の投資を行います。

元手をかんたんに増やした状態で、テーマ性の濃い優良銘柄への投資を行うことができ、より効率的にテーマの成長を背景としたリターン獲得を目指すことができる点が特徴です。

「DX（デジタルトランスフォーメーション）」の成長

DX = デジタルトランスフォーメーション

DXは、IT技術の活用により企業経営や人々の生活・働き方をあらゆる面でよい方向に変化させる概念です。コロナ禍での大きな環境変化を背景に、長期的な成長が見込まれています。

図表2：DXに活用されるIT技術のイメージ



生活を便利にするDX

IT技術によって、生活に身近な領域でも構造転換が進んでいます。人々の生活を変化させる利便性の高いサービスが生まれ、社会に浸透しています。

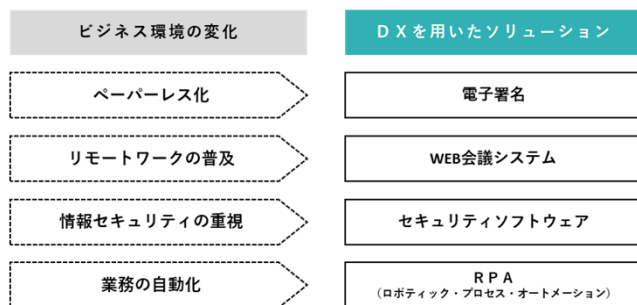
図表3：身の回りのDX事例



ビジネスの効率化を進めるDX

コロナ禍でビジネス環境や人々の働き方も大きく変化しており、企業は様々な課題に直面しています。IT技術を活用した業務や働き方の変革が急速に進んでいます。

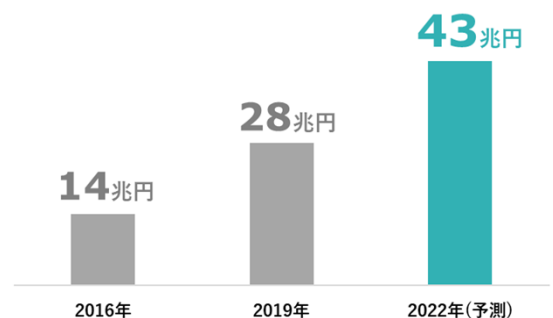
図表4：ビジネスで活用されるDX事例



クラウド技術の発展

IT技術の中でも、特にクラウド技術の発展がDXの推進を後押ししています。様々なクラウドベースのサービスが開発され、多くの企業がビジネスに活用しています。

図表5：世界のクラウドサービス市場規模の推移と見通し

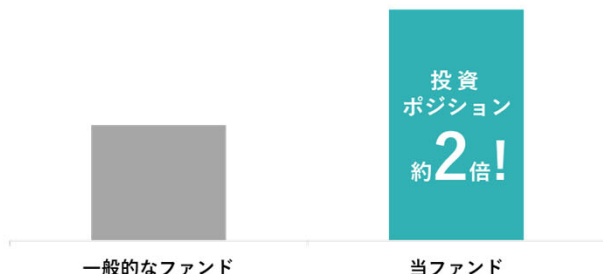


※後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。※出所 [図表4] 各種資料より当社作成、[図表5] 総務省資料より当社作成。※当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドへの組み入れや今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

テーマレバレッジ eコマース2倍

世界の「eコマース」代表銘柄に効率的に投資

図表1：当ファンドの投資イメージ



テーマレバレッジシリーズは、世界の変革をとらえ、未来を見据えた有望なテーマへの効率的な投資機会を提供します。当ファンドでは、外部資本を活用して、テーマの代表企業群に信託財産の純資産総額の2倍相当額の投資を行います。

元手をかたんに増やした状態で、テーマ性の濃い優良銘柄への投資を行うことができ、より効率的にテーマの成長を背景としたリターン獲得を目指すことができる点が特徴です。

「eコマース」の成長

eコマース = 電子商取引

「eコマース」はインターネットを通じた商品やサービスの取引を意味します。世界的なインターネットの普及、利便性や決済技術の向上などを背景に、今後も市場の拡大が見込まれています。

図表2：世界のeコマース小売総額の推移と予測



※1米ドル=110円と仮定し円換算

多様なサービス展開

企業間取引から消費者同士の取引まで、eコマースのサービス形態は多岐にわたります。また、アパレルや中古車販売など、特定のカテゴリーに特化したサービスも展開されています。

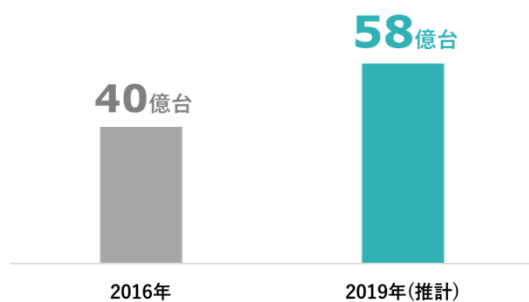
図表3：eコマースの形態の例



スマートフォンの普及

近年ではスマートフォンを経由した消費がeコマース市場の成長ドライバーとなっており、今後も世界的なスマートフォンの普及がeコマースのさらなる拡大を後押しする見込みです。

図表4：世界のスマートフォン普及台数の推移と推計

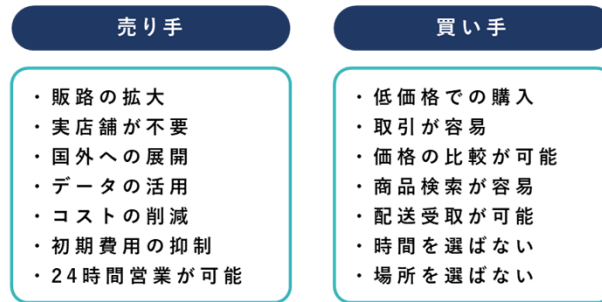


※OSインストールベース台数を推計

高い利便性

eコマースは売り手・買い手の両者にとって利便性が高く、利用に多くのメリットがあります。今や多くの企業・消費者に欠かせない流通チャネルとなっています。

図表5：eコマースのメリットの例

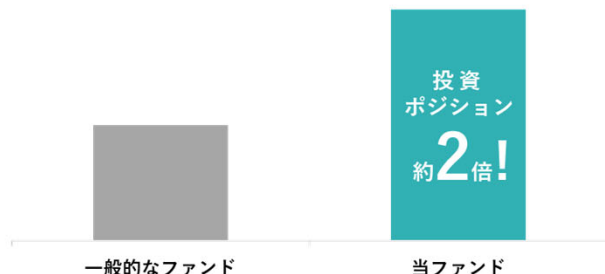


※後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。※出所 [図表2] ジェトロ資料より当社作成、[図表3] 各種資料より当社作成、[図表4] 総務省資料より当社作成、[図表5] 各種資料より当社作成。※当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドへの組み入れや今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

テーマレバレッジ ヘルステック2倍

世界の「ヘルステック」代表銘柄に効率的に投資

図表1：当ファンドの投資イメージ



テーマレバレッジシリーズは、世界の変革をとらえ、未来を見据えた有望なテーマへの効率的な投資機会を提供します。当ファンドでは、外部資本を活用して、テーマの代表企業群に信託財産の純資産総額の2倍相当額の投資を行います。

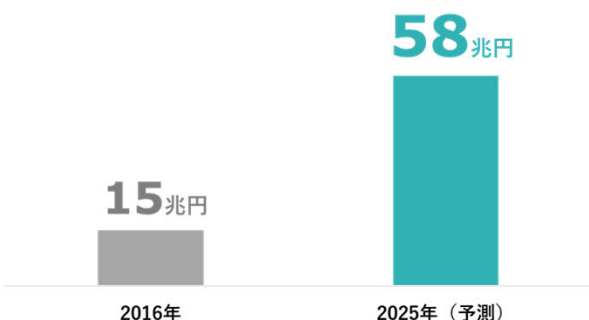
元手をかんたんに増やした状態で、テーマ性の濃い優良銘柄への投資を行うことができ、より効率的にテーマの成長を背景としたリターン獲得を目指すことができる点が特徴です。

「ヘルステック」の成長

ヘルステック = 医療 × テクノロジー

ヘルステックは、医療とテクノロジーの融合によって医療分野の新たな成長をけん引するテーマです。医療コスト抑制や利便性向上などのニーズの高まりを背景に、市場の拡大が見込まれます。

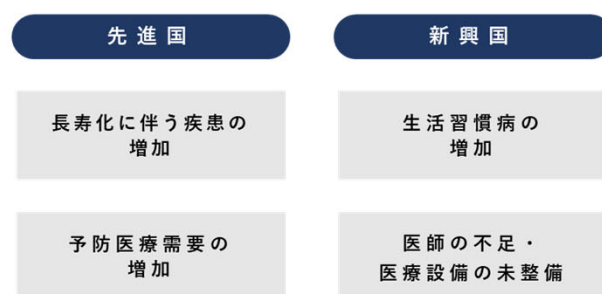
図表2：医療IT市場予測



医療需要の安定的な拡大

先進国では、長寿化に伴う疾患や予防医療需要が増加しています。また、新興国では、生活習慣病が増加する一方で、医師の不足や医療設備の未整備が問題となっています。

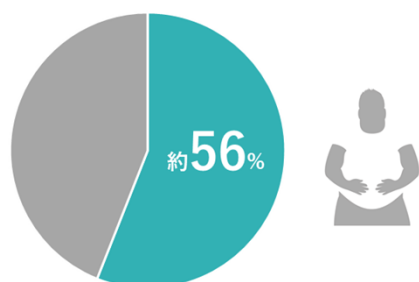
図表3：医療需要の拡大要因



健康促進の必要性

慢性疾患など、不健康な状態にある人の割合は世界的に高く、特に肥満率は多くの国で上昇を続けています。先進国では成人の半数以上が肥満傾向にあり、健康の改善が課題となっています。

図表4：OECD加盟国の成人肥満率（2019）



オンライン診療の普及

コロナ禍では、医療需要の高まりとともに、医療の効率化や非接触化などが求められています。対策として非対面型のオンライン診療が導入されはじめており、今後の普及が見込まれます。

図表5：オンライン診療のイメージ

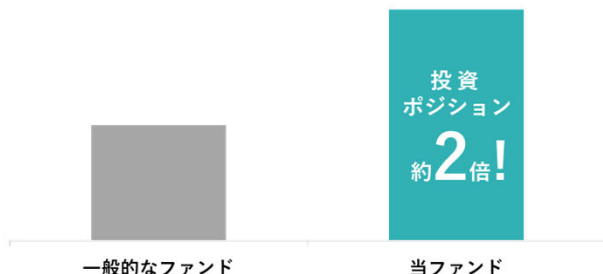


※後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。※出所 [図表2] 総務省資料より当社作成、[図表3] 各種資料より当社作成、[図表4] OECD資料より当社作成。※当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドへの組み入れや今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

テーマレバレッジクリーンテック2倍

世界の「クリーンテック」代表銘柄に効率的に投資

図表1：当ファンドの投資イメージ



テーマレバレッジシリーズは、世界の変革をとらえ、未来を見据えた有望なテーマへの効率的な投資機会を提供します。当ファンドでは、外部資本を活用して、テーマの代表企業群に信託財産の純資産総額の2倍相当額の投資を行います。

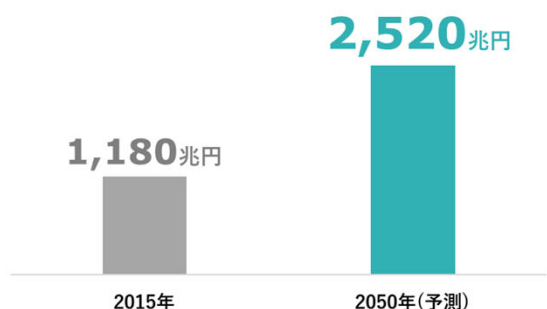
元手をかんたんに増やした状態で、テーマ性の濃い優良銘柄への投資を行うことができ、より効率的にテーマの成長を背景としたリターン獲得を目指すことができる点が特徴です。

「クリーンテック」の成長

クリーンテック = 環境産業 × テクノロジー

クリーンテックは、テクノロジーを活用して環境問題の解決に貢献する新たなビジネス領域です。環境産業は世界的に巨大な市場であり、成長余地が大きいと見込まれるテーマです。

図表2：世界の環境産業市場の推移と予測



再生可能エネルギーの普及

世界では持続可能な社会の実現に向けて、環境への負荷が大きい化石燃料エネルギーから、環境への負荷が少ない「再生可能エネルギー」への転換が急速に進行しています。

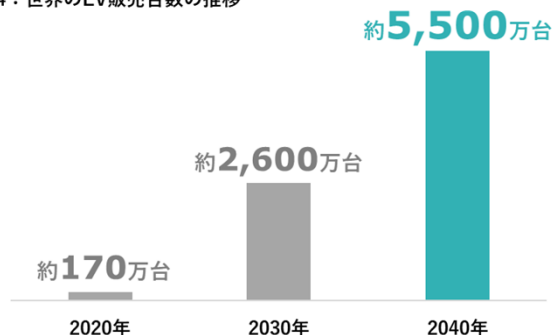
図表3：再生可能エネルギーの例



EVの普及

自動車業界では世界的に脱ガソリン車の動きが加速し、環境に配慮したEV（電気自動車）の普及が進んでいます。将来的に新車販売の半数以上がEVになると見込まれています。

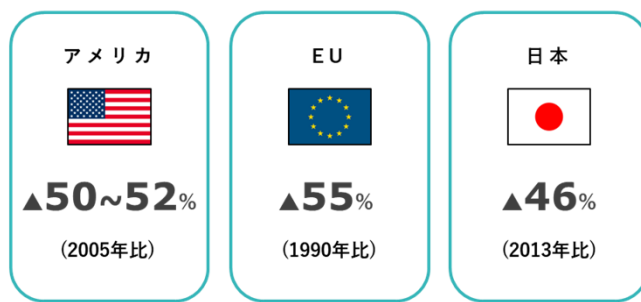
図表4：世界のEV販売台数の推移



各国政府は環境対策を強化

脱炭素社会の実現を目指し、各国政府は環境関連産業への支援を行っています。各国政府の目標は現状とのギャップが大きく、今後も環境関連産業への積極的な政策支援が期待されます。

図表5：各国の2030年までの温室効果ガス排出量削減目標

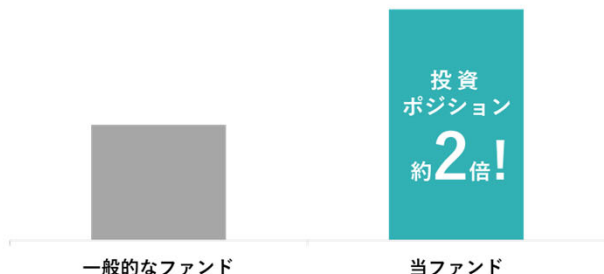


※後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。※出所 [図表2] 環境省資料より当社作成、[図表4] ブルームバーグより当社作成、[図表5] ジェトロ資料より当社作成。※当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドへの組み入れや今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

テーマレバレッジブロックチェーン2倍

世界の「ブロックチェーン」代表銘柄に効率的に投資

図表1：当ファンドの投資イメージ



テーマレバレッジシリーズは、世界の変革をとらえ、未来を見据えた有望なテーマへの効率的な投資機会を提供します。当ファンドでは、外部資本を活用して、テーマの代表企業群に信託財産の純資産総額の2倍相当額の投資を行います。

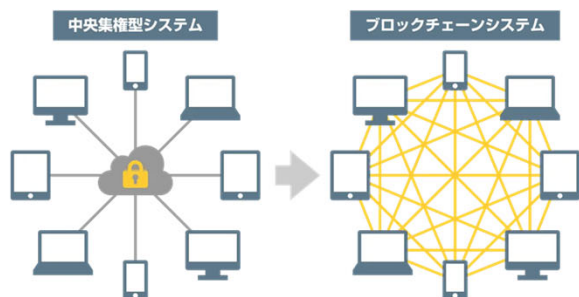
元手をかんたんに増やした状態で、テーマ性の濃い優良銘柄への投資を行うことができ、より効率的にテーマの成長を背景としたリターン獲得を目指すことができる点が特徴です。

「ブロックチェーン」の成長

ブロックチェーンとは

ブロックチェーンは、暗号通貨「ビットコイン」の基幹技術として発明された概念で、取引記録の集合体（ブロック）が鎖（チェーン）上に記録されるしくみです。

図表2：ブロックチェーンのイメージ



ブロックチェーンのメリット

ブロックチェーンは、「安全にデータを記録・保管」することが可能になる革新的なデータベース技術の一種で、情報管理革命の推進役となっています。

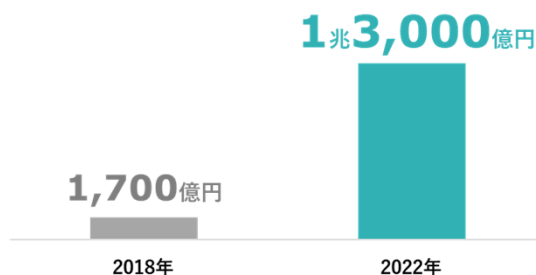
図表3：ブロックチェーンの主なメリット

- ・データの信頼性が高い
データの改ざんや削除が極めて困難で、記録されたデータの信頼性とセキュリティを担保できる。
- ・システムの安定的な運用が可能
「分散型」でデータが共有され、特定のサーバーに依存しないためシステムダウンへの耐性が高い。

高まる情報管理の重要性

世界中で取り扱われるデータ量の増加に伴い、情報の安全性・信頼性がますます重要となることから、ブロックチェーン市場はさらなる拡大が見込まれています。

図表4：世界のブロックチェーン市場に対する支出予測

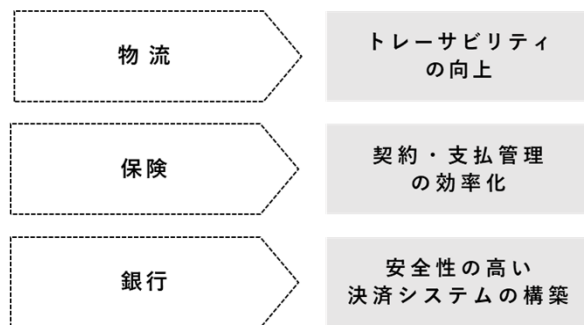


※1米ドル=110円と仮定し円換算

さまざまな領域での適用

ブロックチェーンの適用は暗号通貨のみにとどまらず、「透明性の高い取引の記録を残す」ことができる技術は多くの分野に応用されます。

図表5：ブロックチェーン技術適用分野の例



※後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。※出所 [図表3] 各種資料より当社作成、[図表4] ジェトロ資料より当社作成、[図表5] 各種資料より当社作成。※当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドへの組み入れや今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

投資信託のご購入に際し、お客さまにご理解いただきたいこと

お客さまが投資信託をご購入する際には、以下の2つの注意点を十分ご理解いただいた上で、当該投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧いただき、ご自身の判断で投資に関する最終決定をなさるようお願いいたします。

注意点① お客さまにご負担いただく費用について

	種類	料率	費用の内容	ご負担いただく費用金額のイメージ (金額は左記の料率の上限で計算しています)
直接的にご負担いただく費用	購入時手数料	0~3.3% (税込)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。	基準価額10,000円の時に100万口を購入される場合、 最大33,000円 をご負担いただきます。
	信託財産留保額	0~0.5%	換金に伴い必要となる費用等を賄うため、換金代金から控除され、信託財産に繰入れられます。	基準価額10,000円の時に100万口を換金される場合、 最大5,000円 をご負担いただきます。
信託財産で間接的にご負担いただく費用	運用管理費用 (信託報酬)	年率 0~1.98% (税込)	投資信託の運用・管理費用として、販売会社、委託会社、受託会社の三者が、信託財産の中から受け取る報酬です。	基準価額10,000円の時に100万口を保有される場合、 最大1日あたり約55円 をご負担いただきます。
	その他の費用・手数料		監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。(その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません)	

※費用の種類や料率等は販売会社や個々の投資信託によって異なります。上記費用の料率は大和アセットマネジメントが運用する一般的な投資信託の料率を表示しております。ファンド・オブ・ファンズでは、ファンドが投資対象とする投資信託の運用管理費用等を別途ご負担いただきます。また投資信託によっては、運用実績に応じた報酬や換金手数料をご負担いただく場合があります。

※手数料等の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。※投資信託により異なりますので、くわしくは販売会社にお問合わせください。また、詳細につきましては「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

注意点② 投資信託のリスクについて

投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。投資信託が投資する有価証券等によりリスクの要因は異なりますので、お申込みにあたっては、投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

設定・運用:	大和アセットマネジメント Daiwa Asset Management
商号等	大和アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会	一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡する「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。